

オリンピックアクアティクスセンター、有明アリーナ及び類似施設の整備費について

(1) オリンピックアクアティクスセンター

施設		整備費	備考		
			席数	延べ床面積	竣工年度
オリンピックアクアティクスセンター		538億円（実施設計費込、予定価格）	20,000席 （大会後5,000席）	77,700㎡	2019
類似施設	ロンドン大会 アクアティクスセンター	251百万ポンド 331億円（竣工時為替：1£=132円で換算） 482億円（現在の為替：1£=192円で換算）	17,500席 （大会後2,500席）	—	2011

(2) 有明アリーナ

施設		整備費	備考		
			席数	延べ床面積	竣工年度
有明アリーナ		361億円（実施設計費込、予定価格）	15,000席	45,600㎡	2019
類似施設	ロンドン大会 カッパー・ボックス	41百万ポンド 55億円（竣工時為替：1£=133円で換算） 79億円（現在の為替：1£=192円で換算）	7,000席	—	2011
	国内	さいたまスーパーアリーナ	22,500席	132,397㎡	2000
		横浜アリーナ	160億円（設計費除く）	15,000席	45,800㎡
	大阪中央体育館	483億円（設計費除く）	10,000席	42,664㎡	1996

注1 オリンピックアクアティクスセンターについて、同規模席数を有する国内類似施設はない。

注2 ロンドン大会アクアティクスセンター及びカッパー・ボックスの整備費は、英国会計検査院「ロンドン2012年オリンピック・パラリンピック競技大会レビュー」による（内訳は不明）。なお、日本円への換算は、竣工時（アクアティクスセンター2011年7月、カッパー・ボックス2011年5月）及び現在（オリンピックアクアティクスセンター及び有明アリーナ的设计・施工一括発注案件公表時の2015年10月）の為替相場を適用している。

注3 ロンドン大会アクアティクスセンターの大会後座数は、ロンドン2012組織委員会「London 2012 Olympic Games Official Report Volume3」による。

注4 ロンドン大会カッパー・ボックスの席数はハンドボール競技時のものである。

注5 ロンドン大会の各施設の延べ床面積は公式な資料では把握できない。なお、主な施設情報は以下のとおり。

【オリンピックアクアティクスセンター】：メインプール(50m×25m) + サブプール(50m×25m)+飛込み(25m×25m)

【ロンドンアクアティクスセンター】：メインプール(50m×25m) + サブプール(50m×21m)+飛込み(25m×21m)

【有明アリーナ】：メインアリーナ(バレーボールコート4面) + サブアリーナ 【カッパー・ボックス】：バレーボールコート3面のみ